



国民の森林・国有林

広報

か

な

ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 179

2005.7.1

----- 各地の森林管理署等が特色のある独自の取組を実施 -----

平成16年度から、各地の森林管理署・支署は、地域の独自性を踏まえた自主的な取組を行っています。

この取組を地域発案システムと呼んでいます。当支署においては、管内の人々の生活に大きな恩恵を与えている屏風山について、地元の中学生を対象に色々と知ってもらうための資料を作成することにしています。

この取組の実行に当たっては、地元の中学校や高等学校、自治体、県の関係機関の他、地元で野菜や果物を作っている営農者の方々のご協力を得ながら進めています。

昨年度は、市町村合併等がありなかなか進めることが出来ませんでした。今年度に入ってようやく第一回目の意見交換会を、6月20日、つがる市において開催いたしました。各方面のご意見を伺いながらより良い森林環境教育資料を作成し、屏風山の森林の大切さが末永く語り継がれていくことを願い、張り切って作成中です。



つがる市で行われた意見交換会

【局幹部が安全指導で来署】

6月は安全週間の準備月間となっていますが、この安全週間の行事の一環として、6月29日、井上計画部長が当支署の安全指導のため来署しました。

当日は、晴天に恵まれた中、市浦班、喜良市班共に林道整備作業を見て頂き、講評では、加齢に伴う体力低下の克服、蜂災害の防止等についての話がありました。

当支署の無災害継続日数は、今年の12月で当面の目標である3,500日を迎えることとなりますが、部長から無災害継続の秘訣を問われた現場職員は、家庭内のことを職場に持ち込まないようにし、明るい職場づくりに努めていると、はきはきと答えていました。



計画部長による安全指導（左列二人目）

『やらなければならないことは確実にやる、やってならないことは絶対にやらない』

平成17年度

安全週間

7月1日～7月7日

油断のすき間に事故が待つ 慣れた作業になお注意

当支署では、7月1日からの安全週間（準備期間6月1日～6月30日）の実施に当たり、安全管理体制の一層の充実と活性化を図ると共に、実効ある安全活を展開して、災害のない明るい職場づくりに努めます。

「広報かなぎ」はホームページでもご覧いただけます。(アドレス) <http://www7.ocn.ne.jp/~kanagi>
037-0202 青森県五所川原市金木町芦野200-498 TEL(代)0173-53-3115・FAX 0173-53-3197

森林巡視員幹事会を開催

当支署では、現在、45名のボランティア巡視員が登録され、平成16年度には、延べ100日を越す森林巡視が行われています。この巡視員の幹事会が6月23日、当支署会議室において開催されました。

初めに、木村会長と支署長から挨拶を頂き、引き続いて17年度の具体的な活動について検討、その中で、昨年もボランティア巡視員の親睦を兼ねた合同の清掃活動等も企画したが、集めたゴミの処理等に、森林管理署単独での事業の実行は無理であること等の説明もありました。

今年度は確実に活動を行うとの観点から、10月10日前後に合同の活動を実施することとし、活動内容については事務局に一任となっています。

また、発足当時から会長である木村氏が一身上の都合により退会したいとの申し入れを受け、新会長に副会長の成田剛氏、副会長の後任に伊藤英憲氏が互選されました。



開会の挨拶・木村会長

定例出署日実施

6月6日、全職員が一同に会して定例出署日が開催されました。会議の冒頭支署長から

- ・ 先に行われた会計検査については、特に指摘事項もなく終了したが、これからも細心の業務推進を心掛けよう。
 - ・ 民有林行政に関心を持つよう。
 - ・ 会計検査等で事業の発注が遅れているが、早めの発注を心掛けよう。
 - ・ 労働安全の確保、災害の防止を図ろう。
- 等について挨拶がありました。



業務報告する森林官

私の守備範囲

- こんなところです -

小泊森林事務所
森林官 柳谷 広貴

今年青森営林局(旧)採用になってから、節目の10年目を迎えている。28才になり、もう若いという歳でもなくなった(ちょっと寂しい・・・)。

最近、体のほうが少し気になり出してきて、体重は去年から一年間で10kg近く増えてしまった(ちよくちよく山を歩いているはずなのに何でだろう?)。全力疾走して初めて気づいたのだが、気持ちは前に行っているのに足がついてこない。体力の衰えを感じたのと同時に、少しショックだった。

このままではいけないと、春頃から少しずつトレーニングしている。そのせいか、段々体重も減り、体も軽くなった気がする。

これから、暑い暑い夏がやってくる。夏バテをすることがないよう、これからも少しずつ体力づくりを行っていくつもりだ。



ヤグルマソウ

6月の公売結果

素材 青森市・青森木材センター ヒバ丸太132口(147本)、約181 m³を出材し、127口が落札しました。落札率は93%となっています。

立木 間伐4カ所を3口として、スギ約970 m³を出材し全落となりました。入札枚数は、郵便入札1を含めて3~4枚であり、依然として買い方の出足は少ない状態でした。小径木が主体の物件であり、当初から人気薄が実態のようです。